



中春別小学校
学校便り

窓

第1号

発行責任者 校長 若松 正
令和4年4月6日 発行

新しい年度のはじまり はじめの一步

中春別小学校の令和4年度がスタートしました。

今年度は111人の新入生が中春別小学校に仲間入りしました。ご入学おめでとうございます。新1年生にとって、新しく始まる小学校生活に期待で胸がいっぱいのことと思います。そして2年生以上の児童の皆さん、進級おめでとうございます。

この大切な節目の季節、子どもたちの心には新たな目標が芽生えていることと思います。小学校という新しい学びの場所に立った1年生たちはもちろん、1つ上の学年へとステップアップした2年生以上の児童たちの心にも。どの学年にもいえることですが、子どもたちにとってその学年で過ごせるのは一生のうちで「今」しかありません。とくに最上級生となる6年生たちは、学校の看板を背負うという責任の重さもあり、その決意もひとしおのことと思います。活躍を楽しみにしています。

88人全員がはじめの一步です。今の気持ちを忘れずに、限られた時間をめいっぱい有意義に使って、今、胸にある目標を叶えるための時間に。さらには新しい夢を見つける時間にしてほしいと思います。

目標を大切にしてほしいという願いから始業式のときに子どもたちに次のような話をしました。

1つ目は目と耳と心、そして言葉を十分に使って、なかまとかかわってほしいことです。なかまの頑張りを見つけて、ともに喜んであげられる人になりましょう。自分の頑張りに対し、「えっへん」と胸を張れる人になりましょう。人とかかわるには気持ち伝えあうことが大切です。

2つ目は想像することを楽しめる人でいてほしいことです。なりたい自分をめいっぱい心に描きましょう。「想像」は心を豊かにし、人に勇気を与え、人に優しくしてあげることでできる力の源です。

3つ目は目標をいつも心に留め、実現に向けて時間と努力を惜しまない人でいてほしいことです。なりたい自分に近づくために丁寧に日々を積み重ねていきましょう。

このような話をさせてもらったのは一人より仲間と一緒にの方が目標に近づきやすいと思うからです。そして心から強く思えば、きっといつか“なりたい自分”になれるって思うからです。

そして学校にも目標があります。本校にも「自主」「協同」「勤労」「健康」を大切に実行できる子どもたちを育てたいという教育目標がありますし、地域の皆様とともに歩みを進めるコミュニティースクールには「中春っ子 未来を拓こう みんなの笑顔」のスローガンに象徴される育てたい子ども像があります。また中学校と共有している目標もあります。それは、「ことばの力を活用し、理解力、思考力、表現力を高めながら、学びに向かう主体性、主張性・協調性を育む」というものです。

これらの目標をあらためて意識するとき、そこには“みんなで”という気持ちが共通してあるように思います。そしてまた“みんなで”を達成していくために“伝えあう”という気持ちを大切にしていかなければならないという思いが込められているように感じます。

掲げた目標に少しでも近づいてくために職員一同真摯に取り組んでまいります。そして同じ理念のもと地域・家庭・学校が協働してまいりたいと存じます。これまでと同様、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

日ごと強まる日差しに薄れる根雪。中庭の遊具の足元からちらほら見え始めた芝の茶やレンガ道の黄赤。空は青く澄み渡り、爽やかな風が吹く頃を迎えました。鼻先をくすぐる春です。とはいってものまだしばらくは朝晩の寒さが残りそうです。どうぞお体にご留意いただければと存じます。